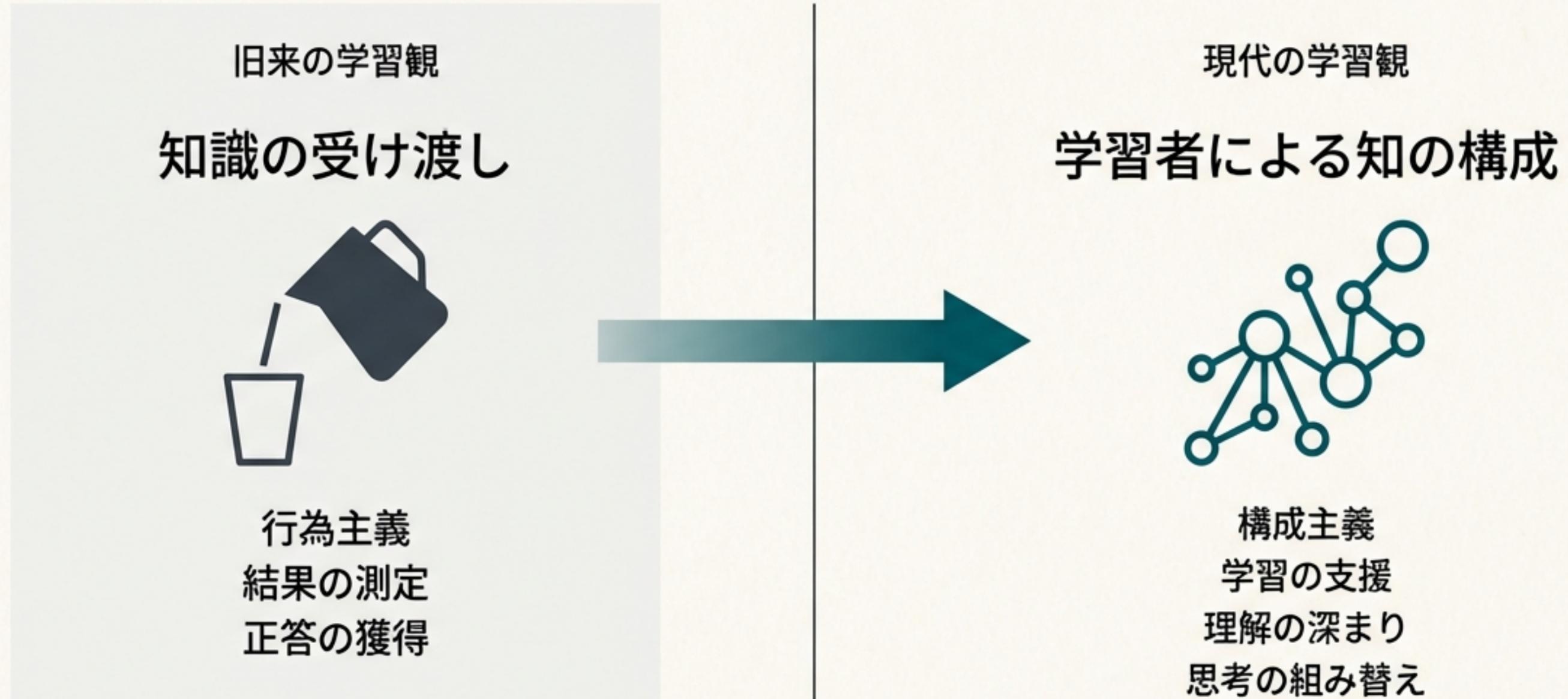


# 評価を問い直す： 「学び」を駆動する アセスメントと フィードバック

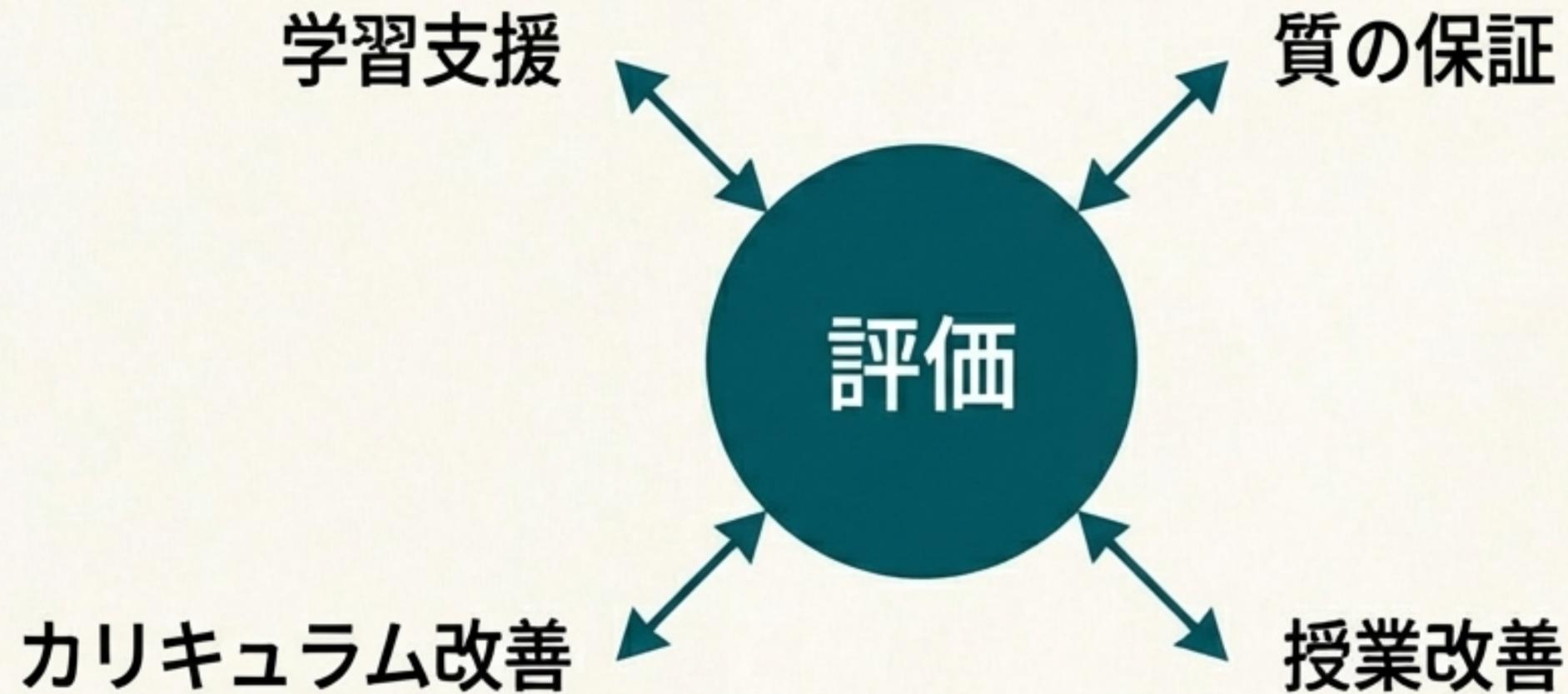
学習者の成長と教師の省察を支える  
根幹的プロセスへ

# なぜ今、評価の転換が求められるのか？



学習観が「知識の受け渡し」から「知の構成」へと進化した今、  
評価もまたそのプロセスを支え、可視化するものでなければならない。

評価とは「終わりの儀式」ではなく、「学びを始める合図」である



評価とは「学習を支援し、質を保証し、授業やカリキュラムを改善するための中心的な実践である」。

# 目的で分ける二つの評価：総括的評価と形成的評価

## 総括的評価

目的 **学習の結果を測定する**

時期 **単元・学期の終わり**

用途 **成績・証明のため**

問い **「どの程度できたか？」**

## 形成的評価

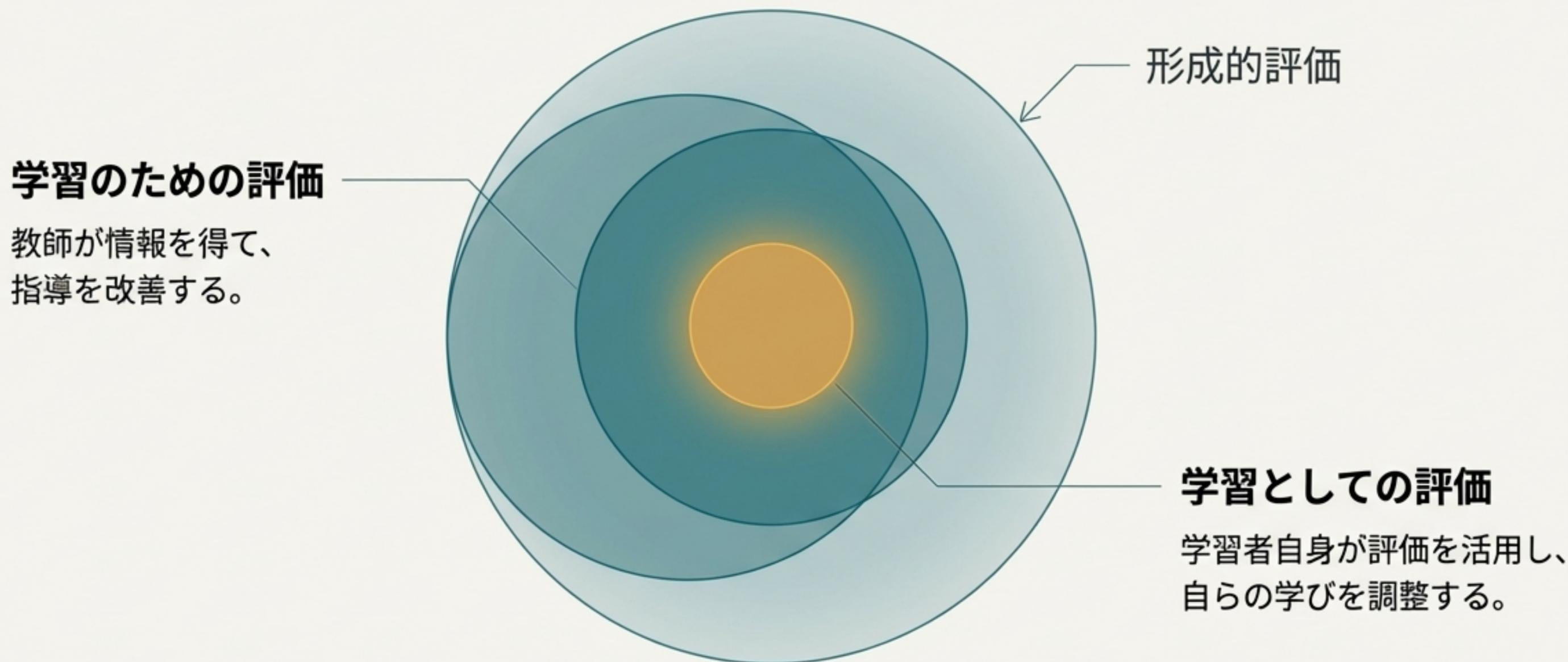
目的 **学習の支援と授業改善**

時期 **学習の途中**

用途 **学びの方向づけのため**

問い **「どこでつまずき、どうすれば改善できるか？」**

# 形成的評価の本質：「学習のための評価」から「学習としての評価」へ



最終的なゴールは、学習者が自律的に学びをマネジメントできるようになることである。

# 形成的評価を支える4つの原理



## 途中で行う

行動を修正できる機会を提供するため、  
学習の途中に行う。



## フィードバックが不可欠

評価結果が学習者に伝わり、理解され、  
行動に反映されて初めて意味をもつ。



## 評価と指導を一体化

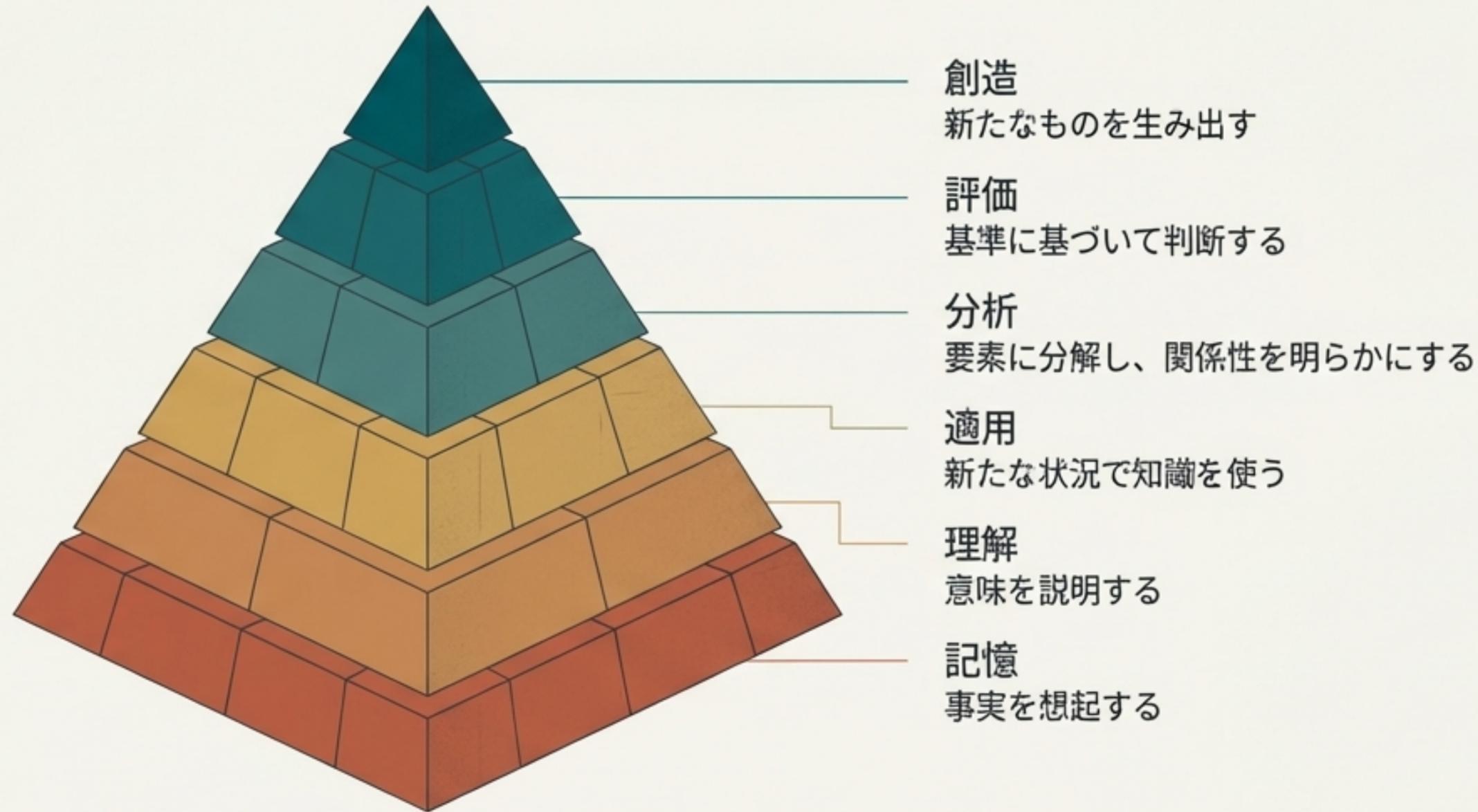
誤答の指摘ではなく学習支援が目的である  
ため、授業と不可分である。



## 自己調整を促進

学習者が自らの理解状況を把握し、学習戦略  
を選択できるように促す（メタ認知）。

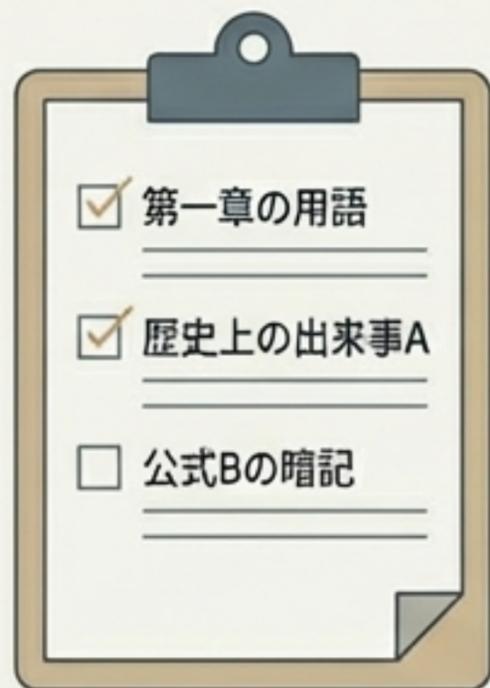
# 設計の羅針盤：ブルームのタキソノミー



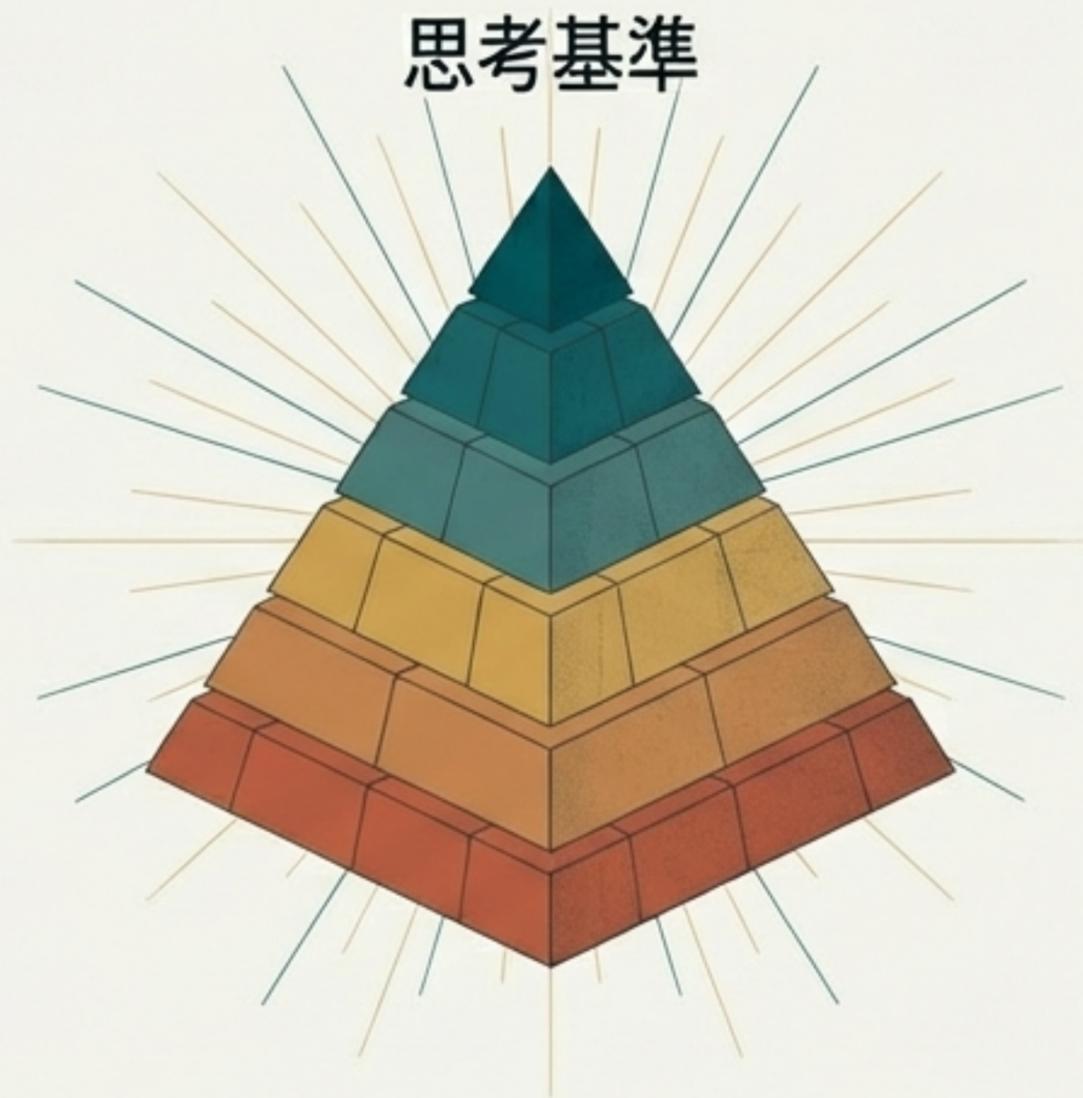
教育における「目標・指導・評価」の整合性を確保するための枠組み。

# 評価基準の転換：「何を教えたか」から「どんな思考を育てたか」へ

## 内容基準



## 思考基準



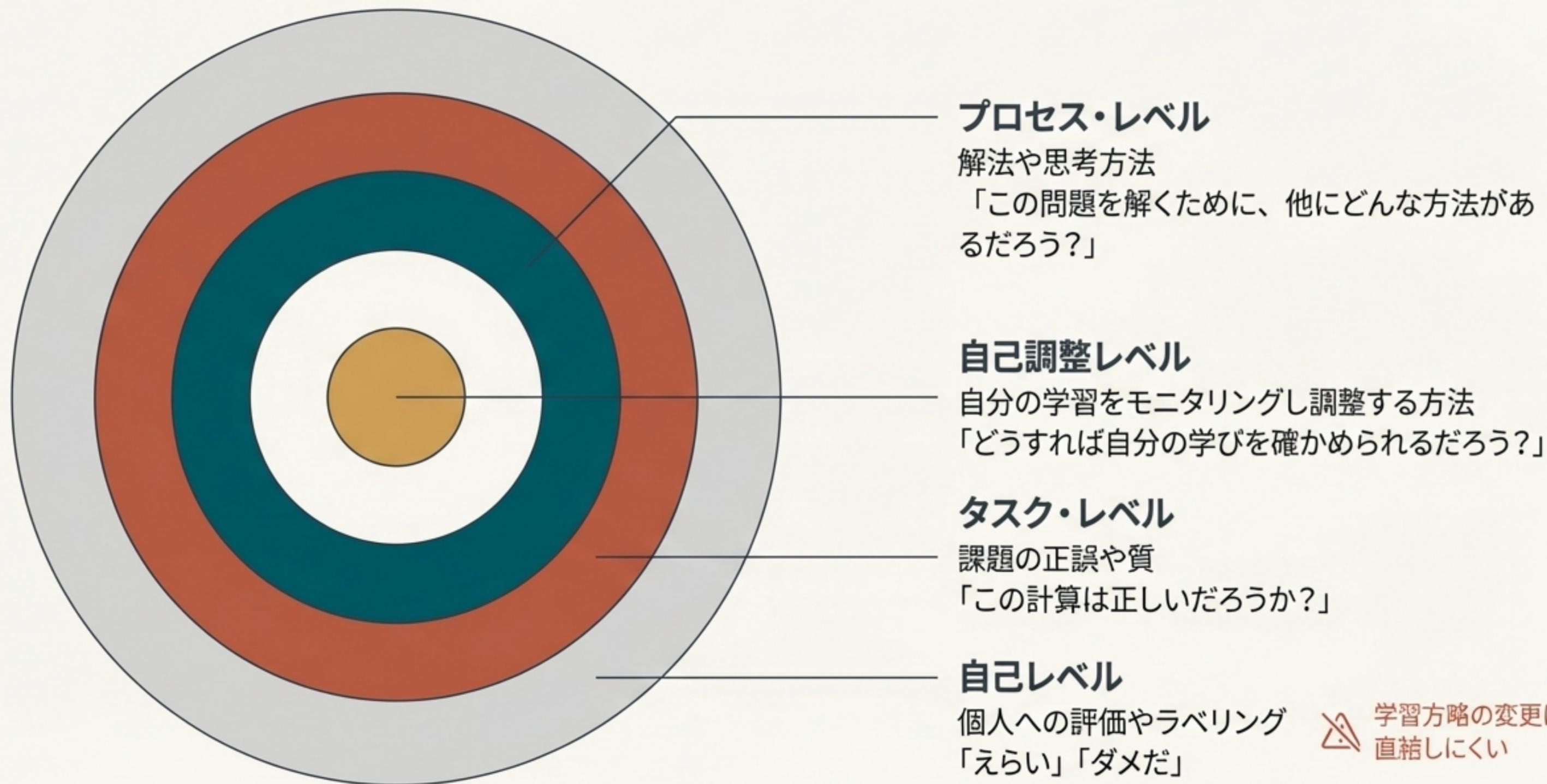
タキノミーは、評価を「内容基準」から「思考基準」へと転換する役割を果たす。これにより、現代教育で求められる「深い学び」を支える学習目標を体系的に設定できる。

# 学びを動かすエンジン：効果的なフィードバックの原理



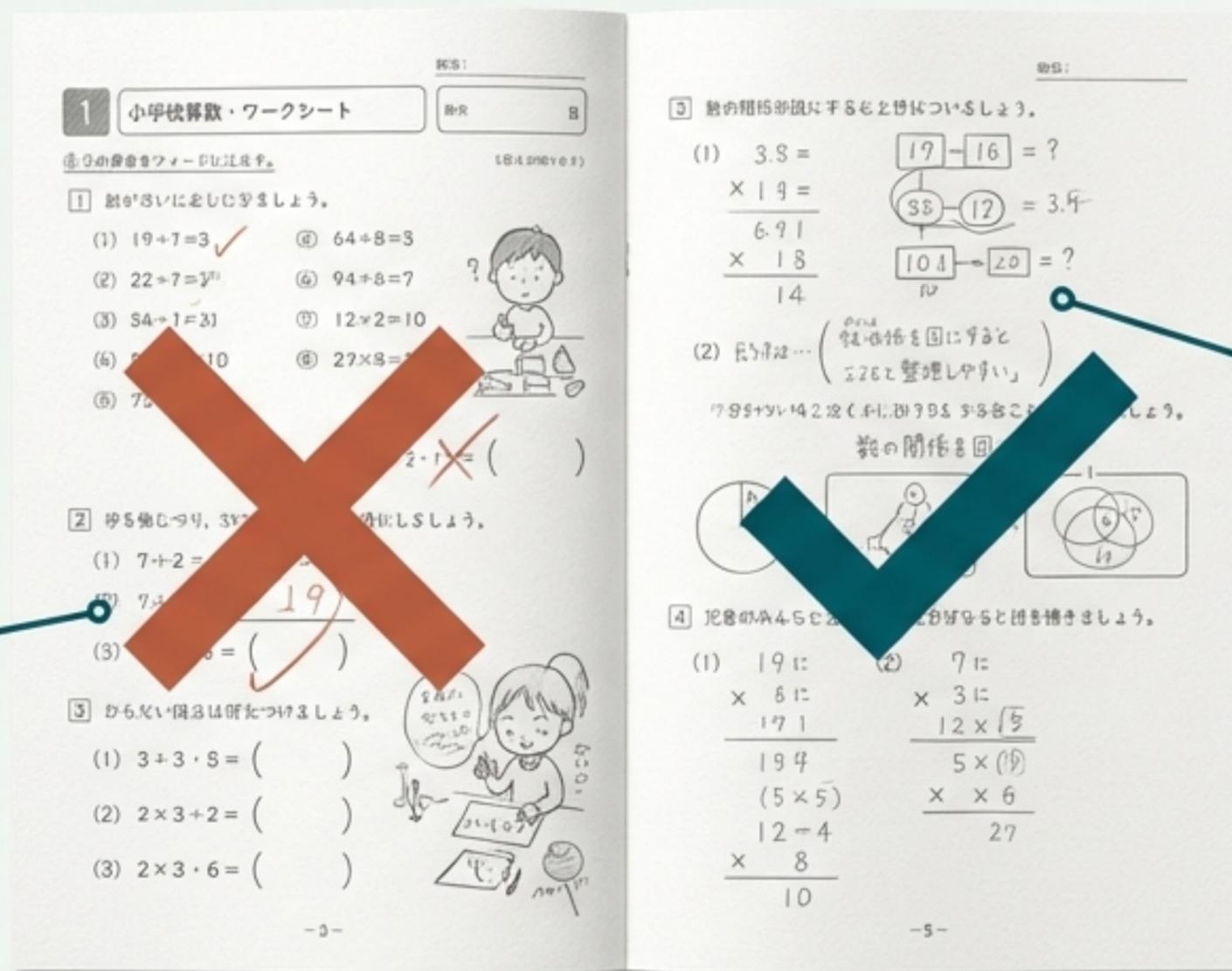
効果的なフィードバックは、「目標」と「現状」のギャップを明確にし、そのギャップを埋めるための具体的な「方略」を示す。

# フィードバックの焦点：どこに情報を返すか



# 実践事例①：算数「思考のプロセス」へのフィードバック

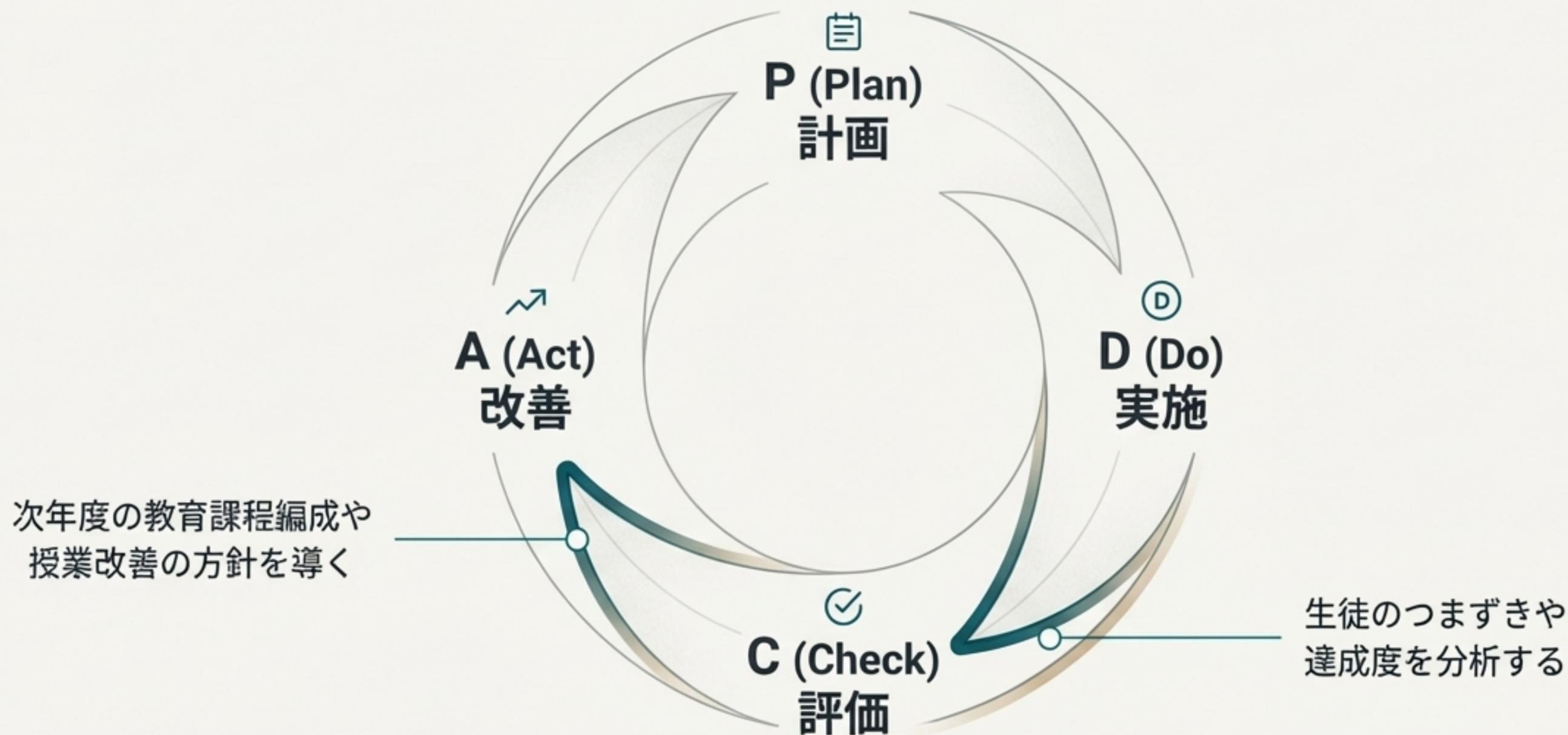
## 小学校算数・ワークシートへの手書きフィードバック



**Ineffective Feedback**  
(結果提示)  
「答えが違います」  
学習者がどこでつまづいたか  
分からない

**Effective Feedback**  
(思考過程への改善提案)  
「数の関係を図にすると  
整理しやすい」  
児童はつまづきを自ら把握し、  
思考を修正する経験を積む。

# 教室から学校へ：評価をカリキュラム・マネジメントに繋げる



評価とフィードバックは、学校を「学習する組織」へと変えていく原動力となる。

# 実践事例②：データが拓く「学習する組織」への道

## 中学校社会科・レポート評価



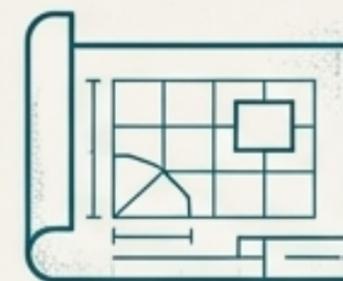
Stage 1  
評価

ルーブリックを導入し、レポートを評価。生徒はタキソノミー高次領域を意識して改善。



Stage 2  
分析

教師は生徒のつまずきの傾向（例：「対立する立場の比較」が弱い）を分析。



Stage 3  
改善・再設計

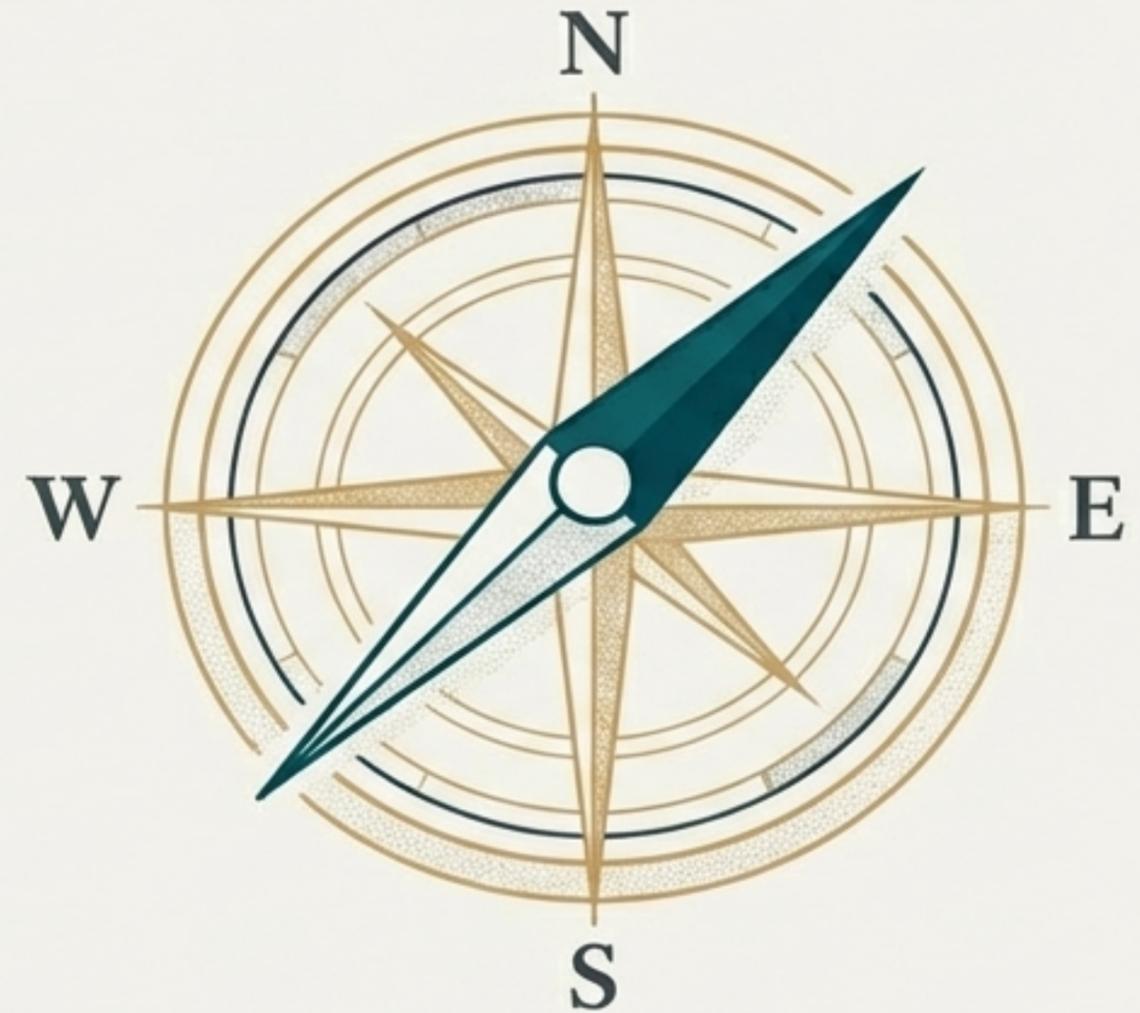
翌年度の単元に「対立する立場の比較」を含む活動を意図的に組み込む。



評価データは個人の裁量に留めず、学校全体のカリキュラムを支える「共有資源」として活用する。

# 評価は、学びを始める合図である

- **WHY:** 私たちの学習観は「知識の受け渡し」から「知の構成」へと転換した。
- **WHAT:** 形成的評価は、学習者の自己調整を促し、この新しい学習観を支える。
- **HOW:** タキソノミーを羅針盤に、効果的なフィードバックをエンジンとして、学びを設計し、支援する。



「評価を問い直すことは、教育観そのものを問い直すこと。  
あなたの現場から、新しい学びを始めましょう。」